

昭和35年(1960)7月31日、留萌の^えゑびす家(※28)で大和^{やまと}

^{えんしゅうりゅう}遠州流茶道・^{せいげつりゅうせんちやどうかいあん}静月流煎茶道開庵50^{しゅうねん きねん}周年記念大茶会が開

かれました。第19代^{たでぬま}蓼沼トミとともに90才になった第

18代^{たでぬま}蓼沼ナヲも記念写真の中に写っています。



昭和35年(1960) ^{せいげつあんかいあん}静月庵開庵50 ^{しゅうねん きねん}周年記念大茶会

※28 ^えゑびす家

留萌市宮園町1丁目にあった料亭^{りょうてい}

翌年、ナヲは91才の天寿を全うします。

ふるさとから遠く離れ、留萌の文化を育んだ人生でした。

没後、昭和40年(1965)に北海道社会福祉協議会賞を贈られています。

娘のトミは母について「母は努力家で、根気強く、勤勉家でした。頭も良く、何でもできましたが、怠け心が嫌い、少しの暇でも良く働いていました。また、自分に厳しく、人にも厳しかったですね。母が亡くなる少し前に、生まれて初めて『おまえは良い子だった。正直な子であった……』とほめられた時、本当に子どものようにうれしかったですよ。」と話しています。